

# さいせいおたる



北海道済生会創立100周年記念式典が8月22日、グランドパーク小樽にて開かれました。これまでの100年を振り返り、節目を祝うとともに、次の100年も地域に根差した社会福祉法人として、ソーシャルインクルージョンの実現に向けて邁進することを誓いました。

## INDEX

- 02 ..... 支部長挨拶
- 03 ..... さいせいニュース①(100周年記念式典)
- 04~09 ..... 100周年特集／歴史年表
- 10 ..... さいせいニュース②(麻酔アシスタント／共生フェス)
- 11 ..... 外来受付時間変更のお知らせ／無料低額診療事業
- 12 ..... 患者さまの声
- 13 ..... 地域連携医療機関の紹介／かかりつけ医
- 14 ..... 外来担当医師一覧表(2024年10月)

社会福祉法人  
済生会支  
部北海道  
済生会小樽病院

〒047-0008  
北海道小樽市築港10番1号  
TEL 0134-25-4321代  
FAX 0134-25-2888  
URL <https://www.saiseikai-otaru.jp/>

発行 和田卓郎 発行日9月30日 編集 広報室(松尾覚志)





## 北海道済生会 創立100周年

北海道済生会 支部長  
近藤 真章

北海道済生会は創立100周年を迎えることができました。ありがとうございます。

私どもの北海道済生会は大正13年小樽市手宮で小樽診療所を開設し、戦後北小樽の地域住民の「総合病院がほしい」という強い要望、請願を受けて、遊郭越治楼を譲り受け、昭和27年当時の安達小樽市長の命名で済生会小樽北生病院としてスタートいたしました。その後増改築を重ね、北小樽の方々に育てていただき、愛されてきました。平成5年小樽市医師会との話し合いでお樽市夜間急病センターを併設、平成14年の開院50周年には国立療養所小樽病院の移譲により西小樽病院が誕生し、同時に慣れ親しんだ「北生病院」から「済生会小樽病院」へと名称を変更いたしました。平成22年「北海道済生会基本構想」を策定し、建物の老朽化、狭隘化そして耐震化の問題があり平成25年8月現在の場所に

新築移転し、令和2年9月には重症心身障がい児(者)施設「みどりの里」を統合し、378床の多機能型病院に生まれ変わりました。

現在北海道済生会は、済生会の根幹事業であります無料低額診療、生活困窮者支援事業、障がい者雇用事業を行い、急性期医療を担う小樽病院を中心に、重症心身障がい児(者)施設「みどりの里」、老人保健施設「はまなす」、済生会ビレッジなどの医療・福祉・介護のトータルケアサービスを行っております。これからは済生会の理念「施薬救療の精神」のもと、「社会的に弱い立場にある人々を誰一人取り残さず、“共に生きる”」という「ソーシャルインクルージョン」の実現のため、「ウエルネスタウン構想(地域住民の健康と安心のまちづくり)」を掲げ、これからも地域住民とのつながりを大事にして、次の100年を目指していきたいと思います。

『人と街 心をつなぐ 北海道済生会 次の100年へ』

# △△△100年後も地域に寄り添う医療を 記念式典で節目祝う



北海道済生会の創立100周年記念式典は8月22日、グランドパーク小樽で開かれました。小樽市内はもとより、全国から多くの関係者をお迎えして節目を祝い、次の100年への誓いを共有しました。

北海道済生会の塚本泰司会長(前札幌医科大学理事長)は式辞で「ウエルネスタウン構想の旗を高々と掲げ、さまざまな取り組みを行うことにより、済生会の理念である施薬救療の精神のもと、ソーシャルインクルージョンの根付いた社会の実現のために貢献したい」と高らかに宣言しました。大勢のご来賓からの祝辞では、北海道済生会の次の100年への期待の声が相次ぎました。

近藤真章支部長(小樽病院名誉院長)は謝辞で「ソーシャルインクルージョンの新たな立場で将来をつないでいきたい」「地域住民とのつながりを大事にして、次の100年を目指してまいりたい」と力強く決意を示し、引き続き開かれた祝賀会で小樽病院の和田卓郎病院長は「私たちが100年間守り続けてきたのは、断らない医療、患者と地域に寄り添う医療。それを発展させ、進化させたのが現在の済生会小樽病院です」と強調しました。



# 地域の皆さんに支えられ 北海道済生会は **100周年を迎えました!**

1924年7月15日に小樽診療所を開設した北海道済生会は、2024年に創立100周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さん、関係団体の皆さまのご理解とご協力の賜物と厚く御礼を申し上げます。

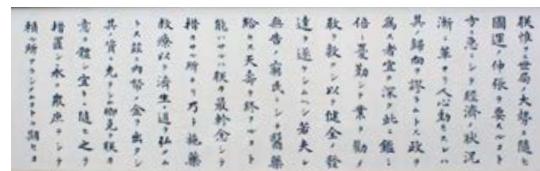
北海道済生会の理念である「医療、介護、福祉の連携・協働のもと、地域住民の健康と、安全・安心な暮らしの実現に取り組む」のもと、より一層の努力をしてまいりますので、今後とも皆さまのご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## Check.1 済生会とは…



明治天皇

1911(明治44)年2月11日、明治天皇は時の内閣総理大臣・桂太郎を召され「恵まれない人々を施薬救療(無償治療)で救おう」とのお言葉(のちに「済生勅語」と呼ばれるようになりました)を発し、お手元金150万円を下賜されました。桂首相はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募り、同年5月30日に恩賜財団済生会を創立、初代総裁に当時の宮家筆頭・伏見宮貞愛親王殿下を推戴しました。現在は秋篠宮皇嗣殿下を総裁として、公的医療機関として指定を受け、本部を東京に置き、全国40都道府県に支部をもつ日本最大の社会福祉法人として医療・保健・福祉活動を展開しています。



済生勅語

### 職員数・施設数(24年3月末現在)

- 病院・診療所 ..... 103施設
- その他 ..... 302施設
- 全職員数 ..... 約66,000人

### 3つの活動目標

- 生活困窮者を**済**(すく)う
- 医療で地域の**生**(いのち)を守る
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

## Check.2 100周年事業

### キャッチフレーズ・ロゴマーク作成

職員から作品を募り制定したキャッチフレーズは「人と街 心をつなぐ 北海道済生会次の100年へ」。北海道済生会が進めるソーシャルインクルージョン(全ての住民が自分らしく生きられる地域社会)の活動を通じ、人と地域がつながる社会を目指し、次の100年も地域に必要とされる存在でありたいとの願いを込めました。

ロゴマークはそれを図案化したもので、済生会の象徴「なでしこ紋章」の赤と緑、頭文字の「S」をあしらい、数字のつながりが人・街・こころのつながりを象徴しています。このキャッチフレーズやロゴマークを院内外で掲示し、100周年をPRしています。

次の  
100年へ  
北海道済生会  
人と街  
心をつなぐ



Check.3

## 北海道済生会100年の軌跡

黎明期



### 黎明期 1924年～

北海道済生会の始まりは1924(大正13)年7月、小樽市手宮での「済生会小樽診療所」開設です。その後も函館診療所(後に函館済生病院)、札幌診療所を開院し、生活困窮者の救療に大きな貢献をしました。終戦後、函館病院を譲渡し、小樽診療所は1952(昭和27)年12月に梅ヶ枝町へ移転して22床の「済生会小樽北生病院」に生まれ変わりました。木造の病院は増築・増床を重ね、准看護婦養成所を併設、1958(昭和33)年2月には待望の鉄筋コンクリート4階建てを増築し、病床数は185床となりました。

発展期



### 発展期 1965年～

1965(昭和40)年11月には木造建物を解体し、全てが鉄筋コンクリート造の病院となりました。1984(昭和59)年5月、1993年(平成5)年にも増築を行い、病床数300床を超え、北小樽の地域病院から「小樽市の急性期中核病院」へとランクアップ。2002(平成14)年10月には「済生会小樽病院」へ改称しました。札幌診療所は1994(平成6)年に閉院しましたが、1996(平成8)年5月に「小樽老人保健施設はまなす」、2002年4月に国立療養所の移譲を受けて「済生会西小樽病院」が誕生しています。

移転期



### 移転期 2013年～

小樽病院は老朽化・狭隘化で、より質の高い医療・療養環境の提供に限界を感じていたため、地域医療の現状や課題をさまざまな視点から分析し、2010(平成22)年に策定した「北海道済生会基本構想」の下、ウエルネスタウン構築を目指して、交通と商業が集約する築港地区への移転を決めました。小樽病院は2013(平成25)年8月に移転、2020(令和2)年9月には小樽市長橋から重症心身障がい児(者)施設みどりの里を移転統合し、医療・福祉が一体となった378床の多機能型病院に生まれ変わりました。

創造期



### 創造期 2020年～

社会福祉法人として医療・保健・福祉を総合的に提供すべく、隣接する商業施設ウイングベイ小樽内に、健康福祉ゾーン「済生会ビルレッジ」を開設し、地域ケアセンター・福祉センターの機能を小樽病院から移しました。発達支援事業所「きっさてらす」、ウエルネスリハデイサービス事業所「ライヴリー」などを開設、「済生会フードバンク事業」も開始しました。健康的で安心な暮らしを守る街づくりの推進を目指し、近隣企業や行政が連携し、小樽市が抱える健康・介護予防上の課題改善に向けた様々な事業を創造してまいります。

2024年

人と街 心をつなぐ 北海道済生会 次の100年へ

## 100年の歴史年表

1924年 - 2024年

## 黎明期 1924年-1965年

- 1924(大正13)年 7月 「済生会小樽診療所」開設(小樽市手宮町)
- 1926(大正15)年 12月 「済生会函館診療所」(現・函館協会病院)開設
- 1930(昭和5)年 10月 「済生会札幌診療所」開設
- 1935(昭和10)年 4月 北海道済生会、独自の巡回看護婦養成制度開始
- 1936(昭和11)年 4月 函館診療所、「済生会函館済生病院」(38床)に昇格
- 1952(昭和27)年 5月 函館病院を北海道社会事業協会に譲渡  
12月 小樽診療所、「済生会小樽北生病院」に昇格(小樽市梅ヶ枝町・22床)  
初代院長に本多敬 就任
- 1955(昭和30)年 6月 小樽北生病院附属准看護婦養成所が開校
- 1958(昭和33)年 2月 小樽北生病院、33年棟を増築(185床)
- 1961(昭和36)年 1月 小樽北生病院、第2代院長に志田律三 就任



## 発展期 1965年-2013年

- 1965(昭和40)年 11月 小樽北生病院、40年棟(南棟)を増改築
- 1976(昭和51)年 5月 小樽北生病院附属准看護婦養成所、病院隣地に改築移転
- 1977(昭和52)年 7月 第30回済生会学会を小樽市で開催  
「済生讃歌」発表
- 1980(昭和55)年 4月 小樽北生病院、人工透析開始
- 1981(昭和56)年 9月 小樽北生病院、結核病棟廃止(237床)  
12月 小樽北生病院、第3代院長に加藤浩 就任
- 1983(昭和58)年 1月 小樽北生病院、増床許可(311床)
- 1984(昭和59)年 5月 小樽北生病院、北棟を増改築
- 1993(平成5)年 6月 小樽北生病院、中央棟を増改築  
小樽市夜間救急センター設置
- 1994(平成6)年 12月 札幌診療所、廃止
- 1996(平成8)年 5月 小樽老人保健施設はまなす開所
- 2001(平成13)年 12月 小樽北生病院、一部療養病床へ転換(289床)
- 2002(平成14)年 4月 小樽北生病院、第4代院長に渡邊邦彦 就任  
10月 小樽北生病院、「済生会小樽病院」に改称  
「済生会西小樽病院及び重症心身障がい児(者)施設  
みどりの里」開業(220床)
- 2003(平成15)年 3月 小樽病院附属准看護師養成所が閉校
- 2008(平成20)年 2月 第5代院長に近藤真章 就任  
7月 小樽病院、療養を回復期リハビリテーション病棟に転換
- 2010(平成22)年 4月 北海道済生会、第1期基本構想スタート

済生讃歌の作詞は、  
札幌冬季五輪の  
テーマも手掛けた  
元札医大教授の詩人・  
河邨文一郎さん  
です！



夏の風物詩、  
おたる潮まつりの  
潮ねりこみに  
北海道済生会として  
初参加したのは  
1987年！



札幌診療所で  
最後の所長だった  
富樫順子氏は、  
老健はまなす  
初代施設長に  
就任しました。



## 移転期 2013年-2020年

- 2013(平成25)年 8月 小樽病院、新築移転(小樽市築港・258床)
- 2014(平成26)年 10月 小樽病院、地域包括ケア病棟(53床)開設
- 2015(平成27)年 3月 北海道済生会、イオン北海道と「災害時における支援協力に関する協定」  
4月 小樽病院、地域ケアセンターを併設  
小樽市南部地域包括支援センター事業開始
- 2017(平成29)年 4月 小樽病院、第6代院長に和田卓郎 就任
- 2019(令和元)年 12月 北海道済生会訪問看護ステーション、小樽病院に併設
- 2020(令和2)年 4月 北海道済生会、第2期基本構想スタート  
小樽病院、新理念を制定「かかって良かったと思う病院」「働いて良かったと思う病院」「地域と共に歩む病院」  
7月 北海道済生会、小樽ベイシティ開発と「ウエルネスタウン構築に関する協定」  
9月 小樽病院、重症心身障がい児(者)施設みどりの里を統合(378床)  
西小樽病院廃止



## 創造期 2020年～

- 2021(令和3)年 3月 健康・福祉ゾーン「済生会ビレッジ」、ウイングベイ小樽に開設  
地域ケアセンター、済生会ビレッジに移転  
発達支援事業所きつずてらす、済生会ビレッジに開設  
4月 老健はまなす、訪問リハビリテーション開始  
5月 就労継続支援B型事業所ぱりもぱっそ、小樽病院に開設  
7月 北海道済生会、フードバンク事業を開始
- 2022(令和4)年 4月 発達支援事業所きつずてらすDuO、済生会ビレッジに開設  
通所介護事業所ウエルネスリハデイサービス ライブリー、  
済生会ビレッジに開設
- 2023(令和5)年 7月 発達支援事業所きつずてらす、保育園留学を開始(小樽市委託)  
8月 発達支援事業所きつずてらすDive、済生会ビレッジに開設  
11月 社会貢献型「ぱりもショップ」、済生会ビレッジに開設  
12月 北海道済生会、小樽市と「地域共生社会の実現に関する  
包括連携協定」
- 2024(令和6)年 4月 きつずてらす、「小樽フォント」発表  
8月 北海道済生会、創立100周年記念式典を挙行

北海道済生会と  
大型商業施設の  
タッグによる  
街づくりは、  
全国的な注目を  
集めています。



職員一同100年の  
歩みを胸に刻み、  
共生社会実現へ向けて  
次の100年を  
拓いていきます。



小樽病院は街づくりの中核施設



ウエルネスタウン構築協定を締結(2020年)



済生会ビレッジ(2021年オープン)



小樽病院に統合されたみどりの里(2020年)

## TOPIC① 麻酔アシスタント臨床工学技士<sup>〃</sup>

7月31日、当院の臨床工学技士の今野義大主任が「麻酔アシスタント臨床工学技士」として院内認定されました。

この資格は麻酔科医の負担軽減を目的に、大学病院等で院内認定が広がっており、医師の指示のもとで種々の麻酔業務を行なうことができます。当院の制度は先進的に取り組んでいる済生会熊本病院の制度を参考にカリキュラムの作成には、札幌医科大学麻酔科学講座からも協力をいただきました。麻酔科医による講義、150症例の実技指導最後には試験も行い、今野主任は優秀な成績でパスし、この日を迎えることが出来ました。



授与式には札幌医科大学麻酔科学講座の山蔭道明教授もご臨席され、山蔭教授からは、「麻酔アシスタントの先駆けとして、しっかり業務に励み、この活動を広げていってほしい」という激励をうけました。

今野主任は「期待に沿えるよう頑張りたい」と抱負を語っていました。

## TOPIC②

## 小樽ウェルネスタウン<sup>〃</sup>への確かな一歩

### 済生会小樽くらしたい共生フェス2024 ウイングベイ小樽で9/8開催、大盛況でした

小樽市民のための共生イベント「済生会小樽くらしたい共生フェス2024」が9月8日、当院の属する北海道済生会が主催して、ウイングベイ小樽で開かれました。これまでの北海道済生会による催しで最多となる約6,000人が来場し、北海道済生会が推進する「ウェルネスタウン構想」の浸透を実感する一日となりました。

メイン会場の済生会ビルでは午前10時、開場と同時に大勢のお客さんがどっと入場しました。午後4時まで、健康フェア、オレンジかふえin秋祭り、みらい共生マルシェ、キッチンカーフェス、共創カンファレンス、美ら海・小樽の両水族館の生配信イベント、パラ・デファスリートのトークショー、モルック・ボッチャ体験会、市内中高生の吹奏楽演奏、劇団みどり公演、モルック大会など、多彩な催しがてんこ盛りでした。



小樽病院が協力した健康フェアでは、各種測定・相談を受ける人の列が途切れず、特に視野検査が大人気でした。15店の共生マルシェ、10台が集ったキッチンカーフェスも長蛇の列で、水族館の生配信やトークショーなどが行われたネイチャーチャンバーステージは、吹き抜けの4階まで立ち見客で満杯に。トリを飾った小樽双葉高吹奏楽部の演奏には、拍手がなかなか鳴りやみませんでした。

**ご来場いただいた皆様、大変ありがとうございました！**

# 外来受付の時間変更のお知らせ

令和6年  
11月1日  
より

医師の働き方改革に対応すると共に、安定した医療サービスを提供するため、  
令和6年11月1日(金)より**外来受付時間**を下記の通り変更いたします。皆様にはご不便をおかけいたしましたがご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 初診の方・予約をされていない方

受付時間	午前の部(変更なし)	午後の部
現 行	8時50分～11時30分 (変更なし)	12時40分～16時00分
11月1日～		<b>12時40分～15時00分</b>

## 予約をされている方(変更ありません)

受付時間	午前の部(変更なし)	午後の部(変更なし)
現 行	8時50分～11時30分 (変更なし)	12時40分～16時00分
11月1日～		(変更なし)

※自動再来受付機の受付は15時までとなりますので、15時以降に受付をする場合は窓口までお越しください。

## 無料低額診療事業のご案内

済生会小樽病院では、生活困難な方が経済的な理由によって必要な医療(治療)を受ける機会が制限されることのないよう、医療費の自己負担を軽くする診療費減免(無料低額診療事業)を実施しています。下記のような方は、相談窓口にお越しくださいか、看護師・事務職員にお申し出ください。(どの程度負担を軽くできるかは、収入や必要な医療費によって変わります)



こんなことで  
お困りでは  
ありませんか?

- 病気で仕事を辞めた
- 収入が減った
- 借金があり生活困難
- 生活保護に該当しなかった
- 非課税世帯
- 年金額が低い

基準を満たしているかどうかを判断するため、収支の分かる資料(源泉徴収や課税証明書などの申請者及び世帯全員の収入が分かるもの等)を提出していただきます。この制度の利用をご希望される場合は“総合案内”(1階ロビー内)にてお申し出ください。医療ソーシャルワーカーがご事情をお伺いいたします。



# 患者さまの声



## 《ご意見・お叱りの声》

※患者さまからのご意見やご要望をお寄せいただくために『ご意見箱』を設置しております。病院が少しでも利用しやすくなるように取り組んでおりますのでお気づきの点が御座いましたら何なりとお知らせください。

食事の内容です。スープ類の塩分がちょっと塩辛です。

入院中の食事内容について、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。いただいたご意見は、給食委託会社の栄養士・調理師にも伝え情報を共有致しました。汁物の調味後の確認として、塩分濃度計を用いて定めた塩分濃度であるか計測しておりますが、スープの具材や保温によって少し塩辛くなってしまったと考えられます。調理師には塩分濃度の計測と盛り付け直前の味見を徹底するよう指導し、改善に努めたいと思います。(栄養管理室)

売店ハマナスで100円のスナック購入。期限切れものあり。本日取り換えに行ったところ、レシートがないとダメと言われた。誠に残念である。期限切れ管理を必ずやってほしい。この売店は2度と利用しないつもり。

この度は賞味期限切れの商品が混じっていたとのことで、大変ご不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございませんでした。賞味期限管理について手順を設けて対応しておりましたが、再度手順を見直し、今後このようなことがないよう気を付けるとともに、患者様が安心してお買い求めいただけるよう管理方法の見直しに努めてまいります。(経理課)

## 《お褒めの言葉》

すべての事についてやさしい。ありがとうございます。20日帰ります。

この度は、退院おめでとうございます。患者様は、入院という日常と離れた生活に不安も多く、看護師からの励ましも負担に感じることがあると思います。そのような中で、私たちの言動を“やさしい”と感じてくださったことを大変うれしく思います。済生会小樽病院の職員として、恥ずかしくない接遇を心掛けていますが、患者様にも伝わっていたことが、スタッフの励みになります。これからも患者様が、心穏やかに過ごせるように入院の環境を整え、退院を支援していきたいと思います。(看護部)

こんにちはー!今日は済生会病院で発熱外来にお世話になりました。コロナは陰性、良かったです。既に熱も平熱です。と、実はもう一つ問題があり、お尻が激痛で先生にご相談して内科、外科でお世話になりました。皆さんの対応が良く、気持ちの良い診察、検査、治療でした。有難うございます。どうやら、痔うだったようで、びっくり。外科治療で痛みが緩和され楽になりました。地獄から天国の気分です。皆さんに感謝の時間でした。まず、御礼でしたー。

暖かいお言葉を有難うございます。何より、治療を経て痛みが緩和された事を本当に嬉しく感じております。今後も、患者様に「かかって良かったと思える病院」と思っていただけるよう職員一同頑張っていく所存です。(看護部)



たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました!!  
今後とも、当院をよろしくお願ひいたします。

# 地域連携医療機関の絆

～安心の地域医療サービスをめざして～

## 花園

[内科・循環器内科・消化器内科]



小樽市花園3丁目15番15号  
TEL 0134-31-0717

### [診療時間]

月・金曜 9:00~12:30  
14:00~17:00  
火・木曜 9:00~12:30  
14:00~17:30  
水・土曜 9:00~12:00

### [休診日]

水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

### [理事長勤務日]

月・水・木・金

### [北海道中央バス]

「花園公園通」停留所から徒歩3分、  
「入船十字街」停留所から徒歩3分

### [JR北海道]

「南小樽」駅から徒歩15分

### [駐車場]

11台、隣接の薬局側も8台

## 花園内科クリニック

院長 小梁川 和宏(こやながわ かずひろ)先生

地域の皆様が気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」

当院は、地域の方が気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」をめざしています。患者様のお話を聞くこと、病気や検査、治療についてわかりやすく説明することを徹底しております。日本循環器学会 循環器専門医として精密な診療を行い、今は深刻な状況ではなくても、将来の健康寿命を見据えて検査や治療をご提案させていただくこともあります。その際も検査の必要性をお伝えし、ご理解いただいた上で進めます。

診療する上で心がけているのは、私自身が明るく元気でいることです。「先生の姿を見て元気が出た」と言ってもらえると、少しでもお役に立てたことに喜びを感じます。

また、コミュニケーションや触れ合いを大切にして、患者様には「大丈夫ですよ」などのお声かけやご家族へのご説明も丁寧に行います。

地域の皆様から「花園内科クリニックに行けば大丈夫」と思っていただけるように努めて参ります。些細なことでも構いませんのでお気軽にご相談ください。



## 「かかりつけ医」を持ちましょう

### 「かかりつけ医」とは？

病気やけがなどの通院治療はもちろん、日頃の健康管理を行っていただく、地域の身近なお医者さんのことです。気になることがあつたら、まず「かかりつけ医」に相談しましょう。専門的な治療や検査、入院などが必要となった場合は適切な医療機関を紹介し、病院への架け橋となってくれます。



かかりつけ医をお持ちでない患者さんには、  
病状やお住まいの地域に合わせてご紹介いたします。  
お気軽にご相談ください。

# 外来担当医師一覧表(2024年10月)

●受付時間/午前8:50~11:30 午後0:40~4:00

診療科		月	火	水	木	金
内科・消化器内科	午前	明石浩史 舛谷治郎	水越常徳 佐々木 耕 池田 博	宮地敏樹 水越常徳	宮地敏樹 明石浩史	永洞明典 舛谷治郎 石上啓介
	午後	志谷真啓 水越常徳	宮地敏樹 永洞明典	本谷雅代 佐々木 耕	舛谷治郎 内科医師	水越常徳 明石浩史
循環器内科	午前		高田美喜生 村上直人	國分宣明	高田美喜生	中田 圭
	午後					高田美喜生
脳神経内科	午前	林 貴士	松谷 学	藤倉 舞	脳神経内科 医師	松谷 学 田中聰泰
	午後	藤倉 舞		田中聰泰		
緩和ケア内科 ※完全予約制	午前	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子
	午後	菊地未紗子 (第1・3・5)		菊地未紗子		菊地未紗子
外科・消化器外科	午前	木村雅美	松村将之	木村雅美	田山 誠	外科医師
乳腺外科 ※完全予約制	午後				島 宏彰 (第3)	
整形外科	午前	和田卓郎 濱田修人 高橋克典 岩田健太郎	織田 崇 高橋克典 深井康貴	織田 崇 濱田修人 清水淳也	近藤真章 和田卓郎 高橋克典 岩田健太郎	織田 崇 濱田修人 深井康貴
	午後 ※予約・紹介患者	近藤真章		濱田修人 (第2・4)		杉 憲 (第2・4) 札幌医大医師 (第3)
	15:00～ 17:00			織田 崇 (第1・3・5)	高橋克典	
リハビリ テーション科	午前					
	午後				田中雄輝 (第1)	
泌尿器科	午前	堀田浩貴	安達秀樹 吉田 敬	堀田浩貴	堀田浩貴	安達秀樹 吉田 敬
	午後					

